

令和6年度 優秀実践校
南小国町立りんどうヶ丘小学校

| | |
|-----------|--|
| 都道府県名： | 熊本県 |
| 住所： | 阿蘇郡南小国町満願寺7045番地 |
| 電話番号： | 0967-44-0450 |
| 児童数（生徒数）： | 48名 |
| 教職員数： | 12名 |
| 地域の概要： | 南小国町は、阿蘇山の北面山麓に位置し、小学校3校、中学校1校を有する人口3,831人の町である。本校区は、戸数約700戸、人口約1,300人である。校区の中心に黒川温泉、西側には田の原、満願寺温泉、南側には約2km離れて旅館や民宿、キャンプ場として開発された小田・白川温泉、北側には大谷山温泉がある。黒川温泉だけでも年間100万人近くの観光客が訪れ、観光地として発展してきている。 |

① 学校の紹介

蔵書数：6,102

学校司書の有無：有

勤務形態：非常勤

司書教諭の有無：無

教育目標・読書活動に関する目標、標語など：

【学校教育目標】

地域とともに歩む「夢」いっぱい！「自信」いっぱい！の学校
～みんな輝く！ 学校輝く！ ふるさと輝く！～

【読書に関する目標】

図書に親しみ読書の楽しみや喜びを味わわせ進んで読書に取り組もうとする態度
や豊かな心情を育てる。

【読書に関する取組の重点】

- 読書を通して心豊かな人間性を育成する。
- 読み聞かせの会を通して図書への興味関心を高め、生涯にわたって図書に親しむ態度を育成する。
- 図書室利用の方法とマナーを知り、進んで図書室を活用したり大切にしたりしようとする態度を育てる。
- 図書室資料などを効果的に活用し主体的に学習しようとする力を育てる。
- 図書室の資料、施設、設備等の整備・充実に努める。



「かっこの会」の活動の様子



② 読書活動の取組

【読書活動の取組】

- 定期的な取組
 - ・月2回（第2・4火曜日）の朝の時間（8:15～8:30）に、お話ボランティア「かっこの会」による読み聞かせを実施。
 - ・給食時の放送で図書委員会からの放送の時間を設定し、おすすめの本を紹介や読書を勧める内容を放送。
 - ・国語や社会等の学習と連携して先行読書や並行読書を実施。
 - ・全員が150冊読破する読書目標を設定。
 - ・月ごとに、累計貸し出し冊数等の読書量結果を周知する。児童は個人表を受け取り、個人ファイルにファイリング。
 - ・個別におすすめの本を紹介する手紙を届ける読書郵便を実施。
 - ・毎月の「図書館便り」の発行。
- イベント的に行われている取組
 - ・月初めの1週目に「家読週間」を設け、10冊借りることができるようにし、家での読書を推進する。
 - ・毎月3日のアイラブ家族デー（ノーメディアデー）に合わせて「親子読書」の推進。

【成果と課題】

- 成果
 - ・全校での取組を徹底し、読書の習慣化につなげたことで令和5年度は全児童で10048冊の貸し出しがあった。
 - ・読書活動の重点化を図ってから、児童の集中力の高まりが感じられる。
- 課題
 - ・貸出冊数の個人差が大きい。
 - ・読書した後のアウトプットの取組の充実を図りたい。
 - ・図書室に行く習慣の確立を目指していきたい。

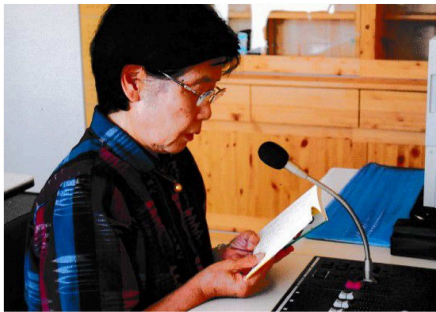
令和6年度 優秀実践団体(個人)

吉田 ひとみ

| | |
|--------|--|
| 都道府県名： | 熊本県 |
| 住所： | 大津町大津---- |
| 電話番号： | -- |
| 会員数： | 1名 |
| 設立年： | 平成25年 |
| 地域の概要： | 大津町は熊本市の東部に位置し、人口約3万6千人。小学校7校、中学校2校。空港やJR豊肥本線、九州自動車道熊本ICなど交通アクセス環境に恵まれ、最近では隣接する自治体に半導体製造の世界的大手企業が進出し、人口増が続く活気ある町である。 |

①団体（個人）の紹介

大津町の学校図書館及び公共図書館で司書として43年にわたり子どもたちの読書活動を支援してきた。その経験・スキルを活かし、平成25年から現在に至るまで、熊本県の「肥後っ子いきいき読書アドバイザー」として、県内の学校図書館等にアドバイスを行っているほか、町内中学校で給食の時間に朗読放送ボランティアを続けている。



中学校での朗読放送の様子

②子どもの読書活動に関する取組

大津中学校での毎週水曜日の給食時間に、校内放送での朗読を始めて13年になる。年度初めに朗読メンバーと学校司書の3人で相談しながら朗読する本の選書を行う。「鬼滅の刃」が話題になった時は、「鬼の橋」(伊藤 遊 著)を朗読し好評だった。朗読時間は、10分と決まっているので、1冊を読み終えるには2〜3か月もかかってしまうこともある。

中学校の図書室には、「校内放送で朗読している本のコーナー」があり、このコーナーで紹介される本はすぐに借りていかれたり、予約が続いたりするそうである。朗読時間はわずか10分間だが、「届け！私の朗読」と心を込めて朗読する。次の週まで40回以上は朗読練習を行っている。

先日、読み終えて帰る途中で先生と会った。「いつもありがとうございます。今読んでもらっている本は、おもしろいですね。子どもたちも楽しみにしていますよ。」と、言われてとても嬉しくて「来週も頑張ろう！」と思った。

ある年のお正月、初詣で参拝した後、「このお礼をください。」と言ったら、「あつ、その声吉田さんでしょ！」と、巫女さんが笑顔でお礼を渡してくださった。「私の朗読を聞いてくれていたんだ。」と、とても嬉しくなった。

「わずか10分、されど10分」である。私の母校でもあり、学校司書としても通算21年も勤務した学校で朗読させていただき感謝している。

母校での朗読が10年以上も続けられるのは、町立のおおづ図書館が我が家から263歩の場所にあることである。

朗読する選書に悩むときは、おおづ図書館に行けば良いからである。おおづ図書館では、司書の方が読書アドバイスをしてくださるし、ヤングアダルトコーナーには朗読したい本が書架いっぱい配架されている。また、四季折々の本の紹介なども、工夫を凝らして展示されている。

大津町小中学校図書館司書部会も、毎月おおづ図書館や各小中学校の図書室で行われており、子どもたちに読まれている本の情報もキャッチすることができる。何よりも朗読したい本の選書が時間をかけずにできるので、朗読練習が十分にできる。

これからも、自分自身のためにも朗読を続けていきたい。

令和6年度 優秀実践校
熊本県立天草拓心高等学校（マリン校舎）

| | |
|-----------|--|
| 都道府県名： | 熊本県 |
| 住所： | 天草郡苓北町富岡3757番地 |
| 電話番号： | 0969-35-1155 |
| 児童数（生徒数）： | 105名 |
| 教職員数： | 53名 |
| 地域の概要： | 苓北町は、熊本県南西部に点在する天草諸島のなかで天草下島の北西部に位置している。江戸時代には天草の政治・経済・文化の中心地としても繁栄した歴史ある町である。レタスやミカンの栽培、子牛の飼育、天領岩ガキや緋扇貝の養殖、天草陶石の産地としても知られている。また、林芙美子ら多くの文豪たちも訪れた地である。人口約6,300人。 |

① 学校の紹介

蔵書数：17,691

学校司書の有無：有

勤務形態：常勤

司書教諭の有無：有

教育目標・読書活動に関する目標、標語など：

【教育目標】

「夢は空より高く 心は海より広く 道を拓かん」の校訓を基本理念とし、特色を生かした学びをとおして生徒一人一人の個性と可能性を伸長する。

【学校図書館教育 重点目標】

- ・読書をとおして幅広い知識・教養を身につけ、豊かな人間性を育む。
- ・教育課程の展開や生徒の健全な教養の育成に必要な資料の収集に努める。



水産海洋関係の図書



手作りしおりの配布

② 読書活動の取組

【定期的に行われている取組の概要】

(1) 校内放送での本の紹介（週1回）

令和3年度に図書委員会と放送委員会が統合し、メディア委員会として活動が始まった。同時期、コロナ禍と一人一台Chromebookの配付により、生徒たちの情報収集手段は大きく変化した。そこで、委員会の生徒が図書館へ人を呼び込むためのアイデアを出し合い、図書部門の生徒が「おすすめの本」の原稿を作成し、放送部門の生徒が校内放送を行うこととした。紹介した資料は、生徒たちの貸出にもつながっている。

(2) 朝の読書（調査期間1週間前・調査期間中を除く毎日）

毎朝8時25分から8時35分までの10分間、全校一斉で朝読書を実施している。生徒の7割が寮生であり、昼休みは寮で昼食を摂るため昼休みの来館者は少ない。また、長期休業中も閉寮により利用はほとんどない。一方で、図書館利用者が多い時間帯は登校後で、その多くが朝読書の本を借りている。日々忙しく、多様なメディアに接する生徒たちにとって、朝読書の時間は、本に親しむことができる唯一の時間である。

(3) 新入生図書館オリエンテーション（年1回）

新入生校内オリエンテーションの時間内に、学校司書による図書館オリエンテーションを実施している。図書館利用についての動画を視聴し、朝読書の本を選んでいる。

(4) 相互貸借の活用（随時）

令和5年度の授業での図書館利用は、56時間である。近隣県立高校図書館や公共図書館と連携し、生徒・職員のリクエストやレファレンスに応じている。

【イベント的に行われている取組の概要】

(1) マリン祭文化部門（文化祭）参加（年1回）

令和5年度は、おすすめの本紹介・しおり配布・古本配布を行った。

【成果と課題等】

(1) 直近5年の平均貸出冊数は、令和5年度11.9冊、令和4年度15.3冊、令和3年度19.4冊、令和2年度12.5冊、令和元年度15.7冊と推移している。年々減少傾向にあるが、連続で10冊以上を上回っている。

(2) 本校は、普通科総合コースに加え、熊本県唯一の水産系学科があり、船舶関係、水産関係などの専門書の充実に努めている。限られた費用の中でさらなる専門書の充実が必要である。

(3) 情報を活用した課題解決の力を育むと同時に、著作権やメディアリテラシーの育成が必要である。

令和6年度 優秀実践校
玉名市立玉陵中学校

| | |
|-----------|---|
| 都道府県名： | 熊本県 |
| 住所： | 玉名市玉名900番地 |
| 電話番号： | 0968-72-2597 |
| 児童数（生徒数）： | 122名 |
| 教職員数： | 20名 |
| 地域の概要： | 玉名市は熊本県の北西部に位置し、有明海、菊池川、小岱山、金峰山、玉名平野など豊かな自然と多数の古墳など歴史的資源に恵まれている。人口は63,033人（令和6年4月末）、学校数は小学校15校、中学校6校である。本校近くに九州新幹線「新玉名駅」がある。また、日本人初のオリンピックの金栗四三の住居が残っている。 |

① 学校の紹介

蔵書数：10,433冊

学校司書の有無：有

勤務形態：常勤

司書教諭の有無：無

教育目標・読書活動に関する目標、標語など：

【教育目標】

故郷を愛し、未来を切り拓く力を備えた児童・生徒の育成

【本校図書館教育目標】

○図書館を目的に応じて利用し、情報を適切に選択し、活用する能力や豊かな感性を持つ生徒を育てる。（情報発信をする図書室）

○読書の楽しさ、喜びを味わいながら、自ら読書しようとする態度を育て、よりよい読書習慣を身につけさせる。（身近な図書室・行列のできる図書室）

○年間目標貸出冊数 一人当たり年間80冊以上

② 読書活動の取組

【読書活動の取組】

(1)図書室行事の充実

バーコード活用による貸出返却のスマート化、目標冊数読破者の紹介、貸出イベント（目標の貸出冊数を超えるごとに福引きやガラボン等で自作のしおりやシールを付与するイベント）や多読者表彰、毎月の図書日より発行。

(2)校内掲示の工夫

読書意欲を高めるために、情報発信（各階廊下に新刊図書紹介ポスターの掲示、貸出冊数のクラスごと・年度ごとの頑張りを掲示、生徒対象のおすすめ本の木、イベントの告知等）を随時行う。

(3)授業での活用

国語科で並行読書を積極的に実施。読書単元で、ポップ作りやおすすめの本紹介カードを作成。学活や総合的な学習の時間も調べ学習等で活用。

(4)玉名市民図書館の活用

絵本を中心に、季節や時期の旬の本を玉名市民図書館にて定期的に借りている。借りた本は生徒と共有するとともに、施設一体型の小学校の通級教室での読み聞かせや生徒による読み聞かせに活用している。

(5)活動体制の強化

校長を室長とし、図書館主任及び学習委員会を中心とした体制のもと、全職員で取り組む。また、地域との連携も進め、平成22年度から読み聞かせを開始。PTAボランティアと地域住民の読み聞かせボランティア団体（名称：たまよりひめの会）と連携した活動を行っている。平成30年度から玉陵小中学校運営協議会と地域学校協働活動推進員の協力のもと、読み聞かせをはじめ、蔵書管理、図書室運営支援など読書環境の向上を図っている。

【成果と課題】

○図書室への来室者数の大幅な増加とともに本に親しむ生徒が増えた。

○日本十進分類法にちなんだイベント等、様々な分野の本に興味・関心をもてる工夫をした結果、読書の量及び質が向上した。

○「チーム玉陵」として、職員全体での取組が定着してきた。今後も、読書意欲を高め、生徒たちの読書活動を支援していきたい。



掲示物（図書だより）



小学校への読み聞かせ

令和6年度 優秀実践園
社会福祉法人本町保育園

| | |
|--------|--|
| 都道府県名： | 熊本県 |
| 住所： | 天草市本町本772番地1 |
| 電話番号： | 0969-22-3871 |
| 園児数： | 60名 |
| 職員数： | 19名 |
| 地域の概要： | 天草市の中心部、旧本渡市の郊外に位置し、小学校、支援学校、障がい者施設などが立地している農村地帯にある。小学校は少子化で68名の児童数である。町内には3か所の保育園があり、校区外からの園児が多いのが特徴である。自然に囲まれた人情味豊かな地域である。 |

①園の紹介

蔵書数：約2,000

読書担当の有無：有

勤務形態：常勤

教育・保育目標、読書活動に関する目標、標語など：

保育方針

- ・自然に学び、絵本や本物の芸術に触れて感性豊かに育つ保育
- ・みんなで頑張る楽しさを知り、充実感や達成感を共有できる保育
- ・子ども自身が生まれつき授かっている成長力を信じて待つ保育

②読書活動の取組

平成5年前後に始めた「絵本の部屋」、絵本講座等がたびたび新聞やテレビに取り上げられる。平成8年度からは一般の方の参加を呼びかけ、現在に至る。園児は専用の貸し出しバッグ(保護者が手作りで提供)で毎月2回2冊ずつ借りている。本園は体験学習を進めており、田植え、稲刈り、芋苗植え、芋ほり、七草摘みなど、その都度図鑑等で調べる習慣がついている。卒園時には自分たちで作った「創作絵ばなし」を絵本にして記念として渡し、どこの図書館にもない絵本を持っている。継続しての読書の習慣を身に付けてもらいたい。



創作絵ばなしの絵本です。

令和6年度 優秀実践図書館
天草市立中央図書館

| | |
|--------|---|
| 都道府県名： | 熊本県 |
| 住所： | 天草市浄南町4番15号 |
| 電話番号： | 0969-23-7001 |
| 職員数： | 13名 |
| 司書数： | 8名 |
| 司書補数： | 0名 |
| 地域の概要： | 天草市の人口は7万4,512人、市内小学校は17校、中学校は13校、高校は県立高校が3校1分校、通信制が2校となっている。 |

①図書館の紹介

蔵書数：173,134

蔵書に占める子ども用図書冊数の割合：約4割

開館時間：昭和47年(1977)に旧本渡市立図書館として開館、平成18年(2006年)に合併し天草市立中央図書館となる。令和2年に天草市複合施設ここらすの2階に移転オープンした。

児童室の有無：無

児童室の規模：ワンフロア

図書館の目標など：

天草市は平成18年3月に2市8町が合併した県下一広域な自治体で、子どもの読書環境は当初より地域で様々だった。そうした課題に取り組むために平成23年度より令和4年度まで、「天草市子ども読書活動推進計画(第1次平成26年度まで、第2次平成28年度まで)」「天草市子ども読書活動推進指針(平成29年度から令和4年度まで)」を計画し、図書館とボランティア・各団体や関連部署等と連携して、①家庭・地域・学校などあらゆる場で子どもが読書に親しむ機会の提供 ②子どもの読書活動推進に関係する施設の整備・充実 ③学校やボランティアなど子どもの読書に関わる大人の連携の推進の3つの柱で事業を展開してきた。令和2年度に天草市複合施設ここらす2階に移転開館し、児童書コーナー・おはなしの部屋を一般書コーナーと分離したことや、児童コーナーにも閲覧席を設置したことで、親子での利用や学生の利用が増加した。令和5年度からは「天草市子ども読書活動推進指針」を見直し、読書バリアフリーを盛り込みながらすべての子どもが読書できる環境を整えることを目標に事業を展開している。



子どもボランティア育成

②子どもの読書活動に関する取組

【定期的活動】

- ・子どもボランティア育成事業
- ・移動図書館車巡回(巡回回数54か所)
- ・ブックスタート事業(健康増進課主管)への読み聞かせボランティアと職員派遣(月1回)
- ・外国語絵本の収集(英・中・韓、東南アジア諸国 約250冊)
- ・読書バリアフリー資料収集(布絵本8タイトル、点字図書260冊、大活字児童書3タイトル、LLブック33冊、マルチメディアデジジー図書47本)
- ・おはなし会(対象:小学校低学年程度、毎月第3土曜)
- ・しあわせおはなし会(対象:乳幼児とその保護者、毎月第3火曜)
- ・学校図書館連携(研修会への職員の派遣、団体貸出、web予約、移動図書館巡回の支援)
- ・保育園、小学校、学童クラブの見学受け入れ
- ・読書通帳発行(平成29年度より、無料)
- ・教科書コーナー設置
- ・子ども向けパスファインダー作成
- ・おたのしみDVD上映会

【イベント的活動】

- ・読み聞かせボランティア交流会(年1回、交流、スキルアップのため開催)
- ・読書イベント(年1回、絵本作家を招聘し、講話や読み聞かせなど)(令和5年4月 tupera tupera 亀山達矢氏、参加者217人)
- ・他部署との連携によるイベント
- ・ビブリオバトル
- ・ライブラリー講座

【成果と課題など】

成果：子どもボランティア事業によって図書館への興味が高くなった。ボランティアとの協同でおはなし会へ参加し、地域ボランティアの後継者不足の解消の一助となっていると考える。子連れで利用しやすい事業や環境を整えたおかげで、家族連れの居場所となっている。学校図書館との連携により、移動図書館が活発に利用され、自分で図書館に来ることができない子どもたちの読書環境を整備できている。

課題：イベントはどうしても来館型が多く、また、広域のため地域格差をどのように減らしていくかが課題。



小学校での移動図書館車巡回

[《検索へ戻る》](#)